

議会だより

かみかわ

No.90

7 / 8

2026



議会改革特別委員会を設置！

神河に夏が訪れる

表紙 紹介

あじさい 猪篠区の紫陽花を訪れました



猪篠区の紫陽花が青やピンク、白など色とりどりに咲いていました。猪篠区では、「美しい地域づくり」として平成22年から「日本一のあじさいの里づくり」に取り組まれています。集落のあちらこちらに紫陽花が咲き誇り、美しい田園風景と紫陽花の美しさに心が癒されました。

まさき あき 表紙写真を撮影した正木亜希さんにインタビュー！

私は自然豊かな神河町で生まれ育ちました。結婚を機に地元を離れ、子どもを育てるようになってから、「私はこんなにも素敵な自然や温かい人たちに囲まれて育ってきたんだ」と改めて気づき、故郷が以前にも増して大好きになりました。だからこそ、大好きなカメラを通して神河町の魅力を伝えたいと思っています。

神河町には、いつまでも変わらない景色があります。帰省するたびに子どもの頃の自分に戻れる、懐かしく安心できる場所です。その美しい景色が今も変わらず残っているのは、日々大切に守り続けてくださっている地元の方々のおかげです。表紙の写真は、地元の皆さんが丹精込めて育てられた「猪篠のあじさいの里」と、私が子どもの頃から親しんできた神河町の味と一緒に写しました。私にとって大切な故郷・神河町の魅力を、ぎゅっと詰め込んだ一枚です。



あんじゅ
娘の杏樹さん

毎年この紫陽花を楽しみにしています！
ゆず香ちゃん、おいしくて大好きです！

題字 紹介

神崎小学校3年

かわい りゅうじ

河合 龍士 さんが書きました！

応募いただいた皆様、
ありがとうございました！

応募いただいた作品の中から抽選の結果、河合龍士さん（福本区）の作品を採用しました。
河合龍士さんに題字を書いた感想等を伺いました。



題字を書いてみて

全体のバランスの
とり方が難しかったです。

漢字を覚える
ことが好き！

漢字の部首を調べることに
ハマっています。

町の好きなところは

花がきれいな町です。
特に桜華園の桜が
お気に入り！

読者アンケートご協力をお願い

皆様からいただいたご意見を今後の議会だより作成に
生かしていきます。所要時間は3分ほどです。下のQR
コードから回答できますので、ご協力をお願いします。

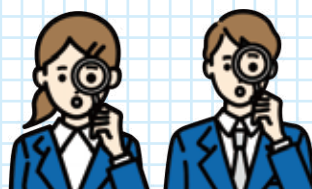


◀議会だより
アンケートフォーム

多くのご意見を
お待ちしております！



町民は知っておきたい！



決めたことを
分かりやすく
解説します

6月定例会の注目ポイント

令和8年6月定例会が6月10日から25日まで（16日間）開催され、提出された議案計19件は慎重審議の結果、全て可決しました。ここでは、主な審議内容をピックアップして解説します。

YouTubeで本会議の様子を公開中！



6/10
定例会1日目



6/25
定例会最終日

条例
改正

ホテルモンテ・ローザが再開予定！



可決
(全会一致)

令和8年1月から休館中のホテルモンテ・ローザが運営を再開することが決まりました。運営方法を旧グリーンエコー笠形と同様に指定管理制度から民間による自立型経営に変更します。運営企業は株式会社エン・トランスで、新名称を「Monte Rosa BASE」（仮称）とし、自然・食・体験・交流をテーマとした地域密着型の観光拠点として運営される予定です。年内再開を目指しています。



休館中のホテルモンテ・ローザ

業務
契約

ケーブルテレビのインターネットが変わる！



可決
(全会一致)

ケーブルテレビのインターネットサービスを10ギガに対応させるために、ケーブルテレビ局内装置の更新を行う委託業務を姫路ケーブルテレビ株式会社と9,345万8,200円で、株式会社ケーオウエイ北近畿営業所と5,926万4,260円でそれぞれ締結することを可決しました。

今はネットワーク速度が2ギガ対応ですが、10ギガになるとネットワークの速度が速くなり、業務処理もアップするため各種事業所の経営業務もスムーズになります。なお、10ギガインターネットサービスは令和9年4月から開始予定です。

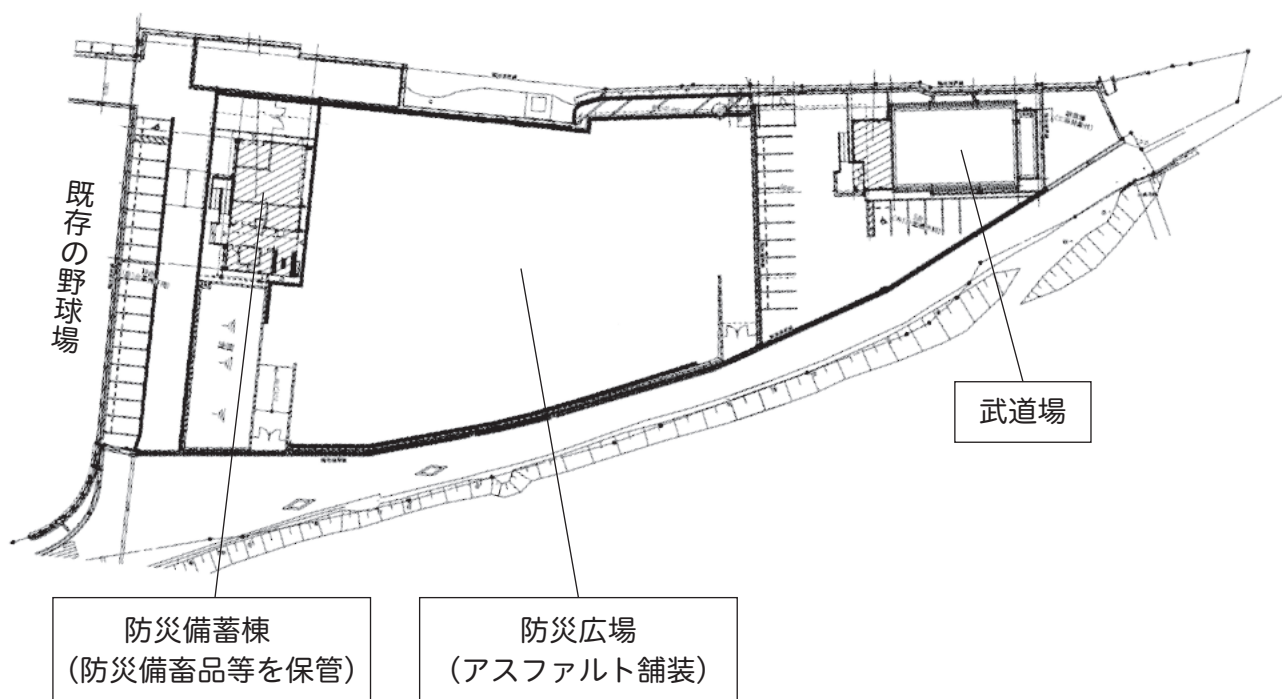


旧神崎公民館・旧神崎体育センターは 防災公園に！

旧神崎公民館と旧神崎体育センターの解体及び防災公園の整備工事請負契約を株式会社片岡建設と4億6,860万円で締結することを可決しました。工期は令和10年2月29日までです。解体後は防災公園として活用され、防災備蓄品やトイレカー等の保管場所として活用されます。

この事業は防災施設整備としての補助金を受けるため、解体後は防災関連の施設整備が必須となります。

防災公園図面案



※令和8年6月時点の図面案です。

防災公園の整備内容について質疑が集中しました。質疑の中から1つをピックアップします。

Q 工事設計段階で利用者の要望を聞き、利用者目線で工事設計をされたか。図面では武道場に更衣室がないが、武道をされるのであれば更衣室が必要ではないか。また、野球場の利用者が使用する防災備蓄棟の女性トイレの数が少ないと思うがどうか。

A 施設利用者の要望は聞いていない。利用者数や男女比率からトイレの数を検討した。更衣室は予定していなかった。利用者が使いやすいようにできる限りの工夫をしていきたい。

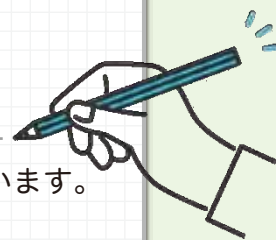
審議結果はこちら



▲定例会のその他の審議結果は町HPに掲載しています

常任委員会の報告レポート

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査を行っています。
ここでは5月に実施した調査について紹介します。



総務文教

常任委員会

調査内容

総合計画、財政、教育、文化、税金など

97問

5月の総務文教常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから5問をピックアップしました！

教育課

小学校の適正規模・適正配置はどうなる？

学校教育審議会から出された今後の町内小学校の在り方の答申について議論しました。

Q 「学校教育審議会」の答申に、長谷小学校の校区に関して「**特定地域選択制**」「**小規模特認校制度**」の導入検討が入っていた。地域やPTAとの協議、調整方法はどうか。

A 長谷ブロック地域自治協議会を通して区長方には説明済みである。PTAには学校を通じて説明していく。

Q 長谷小学校の今後の児童数見込みは最大で10人程度である。教育課から小規模校のメリット、デメリットを明確にしたものを発信すべきではないか。

A 町内で統廃合した小学校5校は、地域の意見を踏まえて統廃合が進められたが、長谷小学校は必ずしもそういう状況ではない。学校教育審議会からは、5年程度状況を見てから判断してはと提言をいただいている。まずは教育課から教育委員会に原案を提示していく。



「**特定地域選択制**」と「**小規模特認校制度**」って何？

「**特定地域選択制**」は、従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認める制度です。

「**小規模特認校制度**」は、従来の通学区域は残したままで、小規模の特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも選択を認める制度です。



長谷小学校



教育課

町民温水プール、赤字のため閉館方針

Q 毎年5,000万円から6,000万円の赤字のため閉館の方針であるが、スイミングスクールの委託がなくなったことで3,000万円の赤字を圧縮できる。これも考慮しているのか。

A 室内温度・水温を上昇させるチラーの改修に約1億5,000万円かかる。合わせて施設の大規模改修に相当な金額が必要なため、閉館の方針とした。

Check!

施設が老朽化

平成5年の竣工から33年が経過しています。チラーは修理不可で、施設改修にも億単位の金額が必要と説明がありました。

桜空

桜空のカフェコーナーの新業者選定は？



現在のカフェコーナー

Q 夏場は公園に木陰がないのでカフェの利用は不可欠になる。建築した以上は業者を入れて活用できるように努力してもらいたい。

A 前業者の撤退後、町内業者を16軒廻り1軒興味を示されたところがあったので交渉中である。
※5月時点の情報です。

給食センター

給食センターの統合協議が前進！

Q 神河町の給食センターを使った市川町との統合協議で、施設更新費用割合や食器の問題はどうなったのか。

A 市川町が神河町の給食センターに統合する経費は、基本的には市川町の負担となる。施設の大規模改修が必要だが、それは2町で折半する。令和14年頃に2町合わせて1,200食ぐらいになり、最短で14年度の2学期から2町運営が実施できる予定である。



市川町学校給食共同調理所

NEXT

民生福祉常任委員会

84問

5月の民生福祉常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから6問をピックアップしました！

公立神崎総合病院

病院経営の立て直しへ 取り組みを数値化し進捗を検証

令和8年2月末時点の病院収支は2億5,421万4,716円の赤字でした。また、入院患者数は対前年度3,029人減、外来患者数は対前年度2,824人減となっており、健全な病院運営のために早急な経営改善が求められています。

Q 病院改革委員会から出された報告書の中に経営改善に向けて重点的に取り組むべき6項目（右に記載）が示されているが、これに対して病院がどう取り組むかを文字化し、達成状況を検証してほしい。

A まず各所属長から各課題の解決法を出してもらおう。病院と役場でしっかりとスクラムを組み、達成状況の進捗管理をきっちりしながら病院の将来戦略や方向性を議論していく。

公立神崎総合病院は地域医療を支える重要な社会基盤であり、人口減少地域においてもその役割は一層重要性を増しています。町と病院が一体となり、地域医療を守りながら持続可能な病院経営を実現するための改革を進めていくことを期待します。

病院改革委員長
まにわ よしまさ
眞庭 謙昌さん

病院改革委員会報告書
(抜粋)

- 1 医業収益の確保**
入院患者や紹介患者の確保
- 2 病床運営の改善**
病床利用率の向上と地域医療需要に応じた病床機能の見直し
- 3 人件費構造を含めた経営管理の強化**
職員（医師含む）の経営参画意識の向上、経営データの共有、診療報酬改定の分析による戦略的な経営運営
- 4 患者サービスの向上**
待ち時間対策、接遇改善による患者満足度の向上
- 5 施設整備・設備更新の方向性**
病院機能の将来像を踏まえ、計画的に検討
- 6 病院経営の持続可能性の確保**
将来的な資金不足の可能性を踏まえ、今後の経営形態の在り方検討



住民生活課

新ごみ処理施設、令和10年の稼働に向け調整

神崎郡3町で建設中の新ごみ処理施設は令和10年4月の稼働開始に向け建設工事が進められています。

Q

ごみの分別方法や収集運搬方法が現時点で福崎町のみ異なるが、新ごみ処理施設稼働後はどうなるのか。

A

分別方法は、令和8年の秋ごろに決まる見込みである。
収集運搬方法は、当町と市川町は既存のパッカー車が使
える間はこれまでどおりの収集運搬方法で調整している。



令和8年6月末時点の工事状況

健康福祉課

手話をもっと身近に

Q

今後の手話言語普及の取組内容と手話言語条例意見交換会で出された意見を教えてほしい。

A

令和8年度の取組として、手話講座と意見交換会を予定している。意見交換会で出た意見は「手話通訳者が足りない」「技術的なレベルアップを図ってほしい」などです。

Q

動画での手話普及啓発や子どもたちへの教育の機会を増やせないか。

A

普及啓発は今後検討していきたい。
手話サークルと連携しながら手話教室の開催も広めていきたい。



健康福祉課

健診未受診者には訪問を

Q

町ぐるみ健診やがん検診を受けない人への保健指導はどうしているか。

A

未受診者には受診勧奨の通知を送付している。

Q

通知だけではなく、直接訪問して受診を促すことが必要だと思うが。

A

未受診者や高齢者世帯に訪問しているが、訪問してもすぐに受診行動にはつながらない。

議員の着眼点

未受診者に受診してもらうには足を運び、対面で受診を促すことが大事である。

114問

5月の産業建設常任委員会で議員から出た質疑や意見、提案の総数です。ここから5問をピックアップしました！

農林政策課

有機農業・オーガニックビレッジ宣言の方向性を議論

ちいさな手で未来を植える。



子どもたちが長谷の有機農業の田んぼで田植えに挑戦！

Q 有機農産物の学校給食供給を支援する県補助金は、令和9年度以降も継続するのか。

A 現行の県補助事業は令和8年度で終了するが、県では別の補助を検討している。町としても、生産者の意向や供給体制を踏まえ、継続の可否を今年度中に協議する。

Q 2025年度中に予定していたオーガニックビレッジ宣言は、その後どうなったのか。

A 令和8年5月では宣言していない。まずは宣言の効果や宣言した自治体事例を検証し、実施の是非を研究する方針である。

神河町では有機農業への関心が高まっています。有機農産物を継続して学校給食に供給するにはまだまだ課題があるため、今後も有機農業に対する支援継続をお願いしました。



オーガニックビレッジ宣言とは？

市町村が地域ぐるみで有機農業に取り組むことを宣言するものです。



ひと・まち・みらい課

ホテルモンテ・ローザの 再建方針は？

Q 今後の運営方針はどのようなのか。

A これまでの指定管理方式では収益化が難しく、施設老朽化に伴う大規模改修を公費で担い続けることも困難なため、旧グリーンエコー笠形と同様に民間事業者活用型の公募をかける結論に至った。これにより、公費負担を抑えられるメリットがある。

※運営方針が決まりました。

詳細は3ページに記載しています。

ひと・まち・みらい課

移住後のトラブル防止へ 丁寧な情報提供を

移住者が地域になじめるように区費や集落ごとの慣習、作業負担等生活に直結する情報の事前提供の在り方について議論しました。

Q 移住後のトラブルを防ぐ情報提供はできているか。

A 移住定住サポートセンターで支援を行っているが、細かな部分は地域と移住者双方のコミュニケーションが欠かせないと聞いている。

農林政策課

神崎フード 売上改善の一方、設備老朽化が課題

神崎フードは令和4年度から6年度まで赤字運営でしたが、経営改善に取り組んだ結果、7年度は黒字になりました。しかしながら、設備の老朽化が進んでおり、設備更新費用の問題が出てきています。

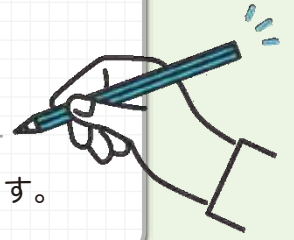
Q 今後の設備投資の方針はどう考えているか。

A 神崎フード出資会社であるエスアールジャパンとの連携で令和7年度は売上増につながった。一方、設備老朽化が進んでおり、特に炊飯ラインの更新には多額の費用を要するため、株主総会で現状を把握した上で町費負担の在り方を検討する方針である。



神崎フード

特別委員会の報告レポート



ここでは5月に実施した人権文化推進特別委員会の調査について紹介します。

教育課

中学校の不登校が多い理由は？

Q 神河中学校の不登校者数が生徒総数210名に対し19名である。約1割が不登校というのは多すぎるように思うが。

A 不登校の原因が必ずしも中学校でのいじめが原因とは限らず、小学校から不登校ぎみの児童が中学生になってそのまま行きづらくなっていることもある。学校内で起きている問題にはしっかり把握、認識し解決していく。

住民生活課

相談しやすい環境の整備を

人権擁護委員による人権相談の回数減（6回→4回）の説明がありましたが、相談システムの見直しを提案しました。

Q 心配事の相談件数が減っているとのことだが、会場や役場の窓口に行くのはハードルが高いからではないか。LINEなどで受け付けできるような非対面相談システムを構築してはどうか。

A ホームページから相談内容を入力できるようにになっているが、総務課とも協議し相談体制の充実を図る。

町民に開かれた議会を目指し

議会改革特別委員会を設置！

この特別委員会は令和6年6月に議会改革調査特別委員会という名称で新設され、より開かれた議会、より身近な議会を目指し、議会の在り方について協議してきました。主な取組として、議会のあり方ゼミナールや議員報酬・定数に関する町民との意見交換会などを実施しました。

このたび、委員会の設置期間満了に伴い、令和8年6月定例会で新名称を「**議会改革特別委員会**」として再設置しました。人口減少や少子高齢化が進む中、議会に求められる役割は変化しています。町民の皆さまの声を町政へ反映できるよう、**情報発信の充実**や**議会活動の見える化**、**議員活動の在り方**などについて議論を重ねていきます。

議会改革に終わりはありません。町民の皆さまに信頼される議会を目指し、引き続き委員会一丸となって取り組んでまいります。



木村秀幸委員長



京極歌織副委員長

町政の“ここ”が知りたい！

一般質問

ここでは、各議員の主な質問と答弁を要約して掲載しています。

QRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画をYouTubeでご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

ケーブルテレビ再放送日

木村秀幸議員 8月4日(火)午後7:00～

澤田俊一議員 8月4日(火)午後8:00～

小島義次議員 8月5日(水)午後7:00～

吉岡嘉宏議員 8月5日(水)午後8:00～

鵜野義一議員 8月6日(木)午後7:00～



質疑（議案質疑）と
質問（一般質問）、何が違う？

Q

A

質問できる範囲と
回数に違いがあります。



質疑は、本会議での議案の説明だけでは分からなかったことを質問するものです。質問回数は3回を超えることができないと規定されています。

一般質問は、町政全般に関わるさまざまなテーマについて、町の方針や事業の計画、効果などを問いたですものです。質問回数に制限はなく、60分以内に予定した質問を行います。

くらしの便利帳の 進捗状況を問う

きむら ひで ゆき
木村秀幸 議員

ひとこと

備えあれば患いなし！
町民ファースト！



Q

過去に便利帳の質問をした際に、「リニューアルは神河町誕生20周年と考えている。町HPでの閲覧を基本とし、冊子は希望者へ配布する」と答えられたが進捗状況はどうか。

A

総務課長 令和6年5月にホームページを更新済みである。今後見直しを行い、9年度上半期の更新を予定。ペーパーレスのため冊子の配布は考えていないが、お問い合わせに応じて、情報提供を行う。

Q

紙版の便利帳は、災害時の重要な情報源になる。制度改正等に対応しやすいルーズリーフ方式も含め、災害に強い紙媒体の整備を検討していただきたいがどうか。

A

総務課長 配布していれば活躍するが、配布はしない。窓口で印刷してお渡しするのは可能。（**印刷料は無料**）

A

副町長 便利帳にも記載しているが、詳しくは担当課へと載せているので何かあれば担当課へお願いします。

他にも以下の質問もしています。

- ・キッチンカーについて
- ・消防団員の年額報酬について
- ・中学校の卒業式の時期について



◀くらしの便利帳



今後のまちづくりを問う

さわ だ しゅん いち
澤田 俊一 議員

ひとこと

住民の参加が神河町を
こころ豊かな町にする

Q 人口減少が進む中、持続可能なまちづくりをどのように進めるのか。行政と住民の協働の具体策は。

A 町長 行政と住民が役割と責任を共有し、地域課題の解決に向けて共に考え行動することが重要である。対話の場の充実、行政情報の積極的な公開、住民が参画しやすい環境づくりに努める。

Q 行政と住民の役割や地域自治協議会の在り方を見直すため、朝来市のまちづくりの基本原則を規定した「自治基本条例」、住民と創り上げた「地域協働の指針」、職員が「住民との対話」を大事にされていることなどを勉強してほしい。

A 副町長 しっかりと対応する。



朝来市



▲自治基本条例

◀地域協働の指針

「縮充」のまちづくりとは？

縮充という言葉だけが先行しているように思えるので、その理念をしっかりと住民に説明し、共感を得るようにお願いしました。

＊佐用町の「縮充」のまちづくりの考え方
《縮》は、これまでの負担を減らして、心を「楽」にすること
《充》は、このまちでの暮らしを思いっきり「楽」しむこと



生活環境の充実を

こ じま よし つぐ
小島 義次 議員

ひとこと

暮らしやすい生活環境の
充実が安心な町に

Q 令和10年にはごみ処理施設が市川町へ移転する。各地域で適切な場所に粗大ごみの集積場を設置してはどうか。

A 防災特命参事 設置は住民の利便性向上につながるが、管理・監視体制の確保や運搬コスト発生などの課題がある。今後のごみの収集方法については協議中であり、費用面・利便性など総合的に適切に検討していく。

野良猫対策への支援は

Q 野良猫を増やさないために、不妊去勢手術を含めたTNR活動への支援は。

A 防災特命参事 県では、地域住民の理解と合意、適正な管理体制のもと不妊去勢手術の取組が重要とされている。町でも地域猫活動への理解や管理体制を進め、将来的に支援の制度設計を研究していく。



一次予防の充実で医療費削減を

Q 病気になる前の予防医療の確立は。

A 病院事務長 健康福祉課など関係機関と連携・協力し推進していく。将来的にはAI活用取組も研究する。

病院を未来永劫残そう

よし おか よし ひろ
吉岡嘉宏 議員

ひとこと

公立神崎総合病院は
町の安心安全の砦です



認可地縁団体(区の法人化)の普及促進を

Q 自治会(区)名義の不動産登記は平成3年の法改正により可能となり、区が法人格を持つので相続登記の問題もない。現在、地籍調査が行われており山林等の所有者、面積が明確になっている。今が認可地縁団体の登録を進めるいい機会だがどうか。

A 総務課長 手続きに必要な書類は準備できているので各区にお示しする。

公立神崎総合病院の今後の経営改善

Q 令和7年度の決算見込みは5億6,000万円の赤字である。このままなら令和9年度末に手持ち資金がショートする可能性が高い。もう待ったなしの状況であるが改善策は。

A 病院事務長 決算では原価償却費等の非資金性のものがあるので赤字額が2.5億円までなら手持ち資金はショートしない。それを前提にどれくらいの診療科で医師がどれくらいの診察をすることが可能なのか数値化する作業をし、実現不可能ならダウンサイジング(縮充)も模索する。



公立神崎総合病院

町民温水プールの存続

う の よし かず
鵜野義一 議員

ひとこと

みんなが健康で
ありますように



Q 町民温水プールを町民の健康維持・増進のために存続できないか。

A 社会教育特命参事 利用者は減少傾向にあり、加えて毎年約6,000万円の赤字が生じている。現在の町の財政状況において、その補填をしていくことは非常に困難である。他の健康教室など開催しているので、こうした事業を活用いただきたい。

Q チラーの修理や買い替え予定はないか。

A 社会教育特命参事 チラーを全更新には1億5,000万円以上の費用がかかる。施設全体の維持更新にも多額の費用が見込まれることから、これらの更新に対応することは困難である。

Q 旭山動物園のようにV字回復できないか。

A 社会教育特命参事 これまで様々な利用促進策に取り組んできたが、利用者数の減少に歯止めをかけることが出来ず、施設の老朽化も進行している。こうした中で、経営をV字回復させることは極めて困難であると判断している。



6/19に町民温水プールを現地調査



#かみかわイイネ



—町の商工業を支える—

神河町商工会青年部

まちの元気のために！

私たちは神河町の商工業を支える若手経営者・後継者の団体です。地域イベントの企画・運営や子どもたちへの職業体験など、さまざまな活動を通してまちを元気にしています！

私たちは地域のつながりを大切にしながら、学び・交流・活動を通じて、自分たちの成長と地域の発展を目指しています。地域に貢献したい方、新しいつながりを求めている方、何かにチャレンジしてみたい方、私たちと一緒に活動してみませんか！



かみかわわく work TRY!

思いは同じ

まちを元気にするという思いは、商工会青年部も議会も同じです。お互いの立場を尊重しながら連携を深め、まちの未来のために力を合わせて頑張っていきましょう！

【お問い合わせ先】神河町商工会 ☎ 32-0295

取材日：令和8年6月18日／取材者：木村秀幸

あとがき 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻

5月8日より新メンバーで広報公聴活動調査特別委員会が発足しました。議会の状況を分かりやすくお伝えできるよう委員6名が一丸となって努力してまいります。これからも神河町議会「議会だよりかみかわ」をご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。（関口 裕）

広報公聴活動調査 特別委員会

委員長	関口 裕
副委員長	鵜野 義一
委員	吉岡 嘉宏
	京極 歌織
	小島 義次
	木村 秀幸